

12. ほめちぎる教習所伊勢×皇学館 セーフティードライブプロジェクト 楽しくセーフティードライス！！

三重県内の交通事故削減と運転に対する不安軽減を目指し、若年ドライバー向けに安全運転啓発動画を作成します。「ほめちぎる教習所伊勢」さんの協力で活動を進め、SNSを活用して動画の発信をしていきます。
安全運転啓発動画の作成を皮切りに、交通安全に関する様々な活動をしていきます。

メンバー数：1名
活動場所：伊勢市
実施主体：ほめちぎる教習所伊勢
担当教員：新田 均（現代日本社会学部）
活動年度：R06

月別活動

- 5月** 本プロジェクトの立案
教習所へ交渉・ズームでの打ち合わせ
活動目的・内容具体化
- 10月** CLL活動申請
- 11月** 本プロジェクト始動
CLL活動説明会にてプロジェクトを紹介
- 12月** 第1弾 車間距離に関する動画を撮影
- 1月** 第2弾 シートポジションの合わせ方・
自分に合った車の選び方について撮影
第3弾 使って便利な車の機能について撮影
第4弾 アクセルワークのコツについて撮影
- 毎月** 教習所にて、安全運転啓発に関する動画を撮影し、後日編集作業を行います。

運転経験の浅い若者やペーパードライバーをターゲットに、安全運転啓発に関する動画を作成し、編集。YouTubeやInstagramなどのSNSを活用し、出来るだけ多くの人の目に留まるよう発信をしていきます。

今後について
本年度は主に動画制作を行いますが、余裕があれば安全運転に関する他の活動もできればと考えています。



1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

11月に本プロジェクトを立ち上げ、CLL活動説明会にも参加しました。今年度の第一弾として、「安全運転啓発に関する動画撮影」を行っています。現在の進捗としては、動画の内容を立案し、絵コンテを作成しました。その後、実際に現地で撮影も行いました。次のステップでは、撮影した動画の編集を行い、SNSを通じて発信する予定です。

今後の課題としては、動画構成の立案や編集スキルを向上させ、よりシンプルで分かりやすい動画を作ることが必要です。また、できるだけ多くの人に見もらえるよう工夫を凝らした発信を行うことも重要です。さらに、現在活動メンバーが1人だけなので、継続的に活動できるように新規メンバーの確保も大きな課題となっています。

活動を通して学んだこと

この活動を通じ、プロジェクトを立ち上げる際の事前準備の重要性を深く実感しました。特に、活動の目的や内容の基盤をしっかりと定め、それに基づいて進めることができることを学びました。具体的な活動の企画を進めるためには、協力を依頼する資料を事前に作成し、実際に教習所を訪問して交渉を行う必要がありました。しかし、企業との交渉経験が一切なかったので、多くの職員の前でプレゼンテーションを行うことに対して大きな不安を感じました。特に、何もないところから新しいプロジェクトを創り出すことに対して、果たして自分にその力があるのかどうか、強い不安を抱いていました。

それでも、挑戦することによるワクワク感を感じながら臨むことができ、非常に有意義な経験となりました。このような心理的なプレッシャーの中、新たなことにチャレンジする体験は自分のプレゼンスキルを伸ばし、自分自身を見つめ直す機会になりました。また、活動を企画して進めていく中で、自分が多くの方々に支えられていることを改めて実感できたと感じています。

活動が進む中、動画撮影の効率化を図るために、あらかじめ絵コンテを作成して撮影に臨みました。絵コンテの作成は初めての経験でしたが、動画の撮影自体も全くの未経験だったため、準備にかなりの時間を要しました。このため、今後の課題として撮影準備の効率化が必要であることに気づきました。課題はまだありますが、これからも挑戦を続け、多くの成果を残せるよう努力していきたいと思います。

実施主体からのコメント

ほめちぎる教習所伊勢
ご担当者様

山内さんの安全運転に対する熱意は、事故を減らしたいという強い思いから来ています。日々、安全運転の知識を深める努力を惜しまない姿勢は、このプロジェクトにおいても発揮されています。その丁寧な取り組みは、どこでも高く評価されるでしょう。

担当教員より

現代日本社会学部 新田 均

教習所の協力を頂きながら、意義ある活動をさせて頂いております。

成果物／制作物



教習所



撮影に使用する教習車



走行撮影の様子



- ・自動車の安全運転に関する知識を学びたい、また安全運転に関して自分の知っていることを発信したい人
- ・動画の撮影・発信に興味のある人